



# 松中だより

校訓: 自主・自律・自学

学校だより 第7号

千葉市立松ヶ丘中学校

令和3年10月29日(金)

## 1 災害に備える心構えを

校長 伊藤芳仁

10月は初日から、台風の関東接近があり、県内にも浸水被害を出しました。また、暴風警報発表の懸念から、午後は緊急に下校する措置を取らせていただきました。さらに、10月8日には千葉でも震度5弱を記録する地震が発生し、交通機関に大きな乱れを生じさせました。10月半ばまでの夏日も季節もずれているように思えます。今後も大きな災害に見舞われないか心配は絶えません。異常気象や震災など防災に対する準備や備えは日頃から大切なことであると痛感しています。

11月に入ると確実に冬に向かい寒くなっていきます。服装や食事、暖房や換気に注意し、手洗いやうがいを心がけ、新型コロナウイルス感染防止はもとよりインフルエンザなどにならないよう心掛けたいものです。

## 2 生徒会任命式がありました

10月25日の生徒集会において、新生徒会本部役員と専門委員会の委員長の任命式及び新旧本部役員と委員長の交代式が行われました。

旧役員の皆さん、一年間お疲れ様でした。また、新役員の皆さん、これから一年間頑張ってください。

### 第三話 土気往還の約25km名所巡りの旅

#### その2 七天王塚から千葉東病院まで

お茶の水を右手に見て右折すると千葉大学附属病院に向かう通称病院坂である。この坂を上りきると旧大学病院の敷地と道路を挟んだ進行方向右側に7つの塚が残っている。この塚は七天王塚と呼ばれ、北斗七星の形で配置される。平将門の七人の影武者の墓とも言われ、むやみにさわると祟ると伝えられる。七天王塚を越えると青葉の森入口である。ここから土気往還(旧東金街道)土気往還は公園の中へ進み往時の様子を残している。この青葉の森公園は1917(大正6)年、農商務省・畜産試験場が開設され、戦前・戦後にわたり日本の畜産技術研究の中心であったが、1980(昭和55)年筑波学園都市に移転した。公園内の「舟田池」は土気往還が賑わっていた江戸時代から残る池で、五田保(現蘇我駅南側)方面の灌漑用溜池として使われた。この池付近は当時の土気往還の面影を残している。青葉の森から松ヶ丘(追分)までは旧東金街道と土気往還の共用区間である。追分の延命地蔵(松ヶ丘町)地蔵には「これより右とけ道、これより左とう可称(とうがね)道」と書かれていて街道の分岐点であることが分かる。最近この地蔵が置かれている土地は新たに造成しているが、地蔵はそのまま残されている。「追分」とは、もとは「牛馬を追い、分ける場所」を意味する。追分から松ヶ丘中横を通り、千葉東病院までの道は今でも残る土気往還の貴重な旧道である。



七天王塚



青葉の森入り口付近



畜産技術研究発祥之地の碑



舟田池



当時の面影を残す土気往還



延命地蔵



トップマート前の土気往還



東病院で消滅する土気往還

## 【11月の予定】

月	火	水	木	金	土	日
1 振替休業	2 3年 市ダンス発表会	3 文化の日	4	5 第四回 進路希望調査	6	7
8 計画訪問	9 PTA 定例会 19:00	10	11 3年進路面談 ～18日(木)	12	13	14
15	16 市教研 部活動休養日	17	18	19 1・2年テスト 7日前部活中止 期間～25日(木)	20	21
22	23 勤労感謝の日 地区バドミントン大会(体育館)	24 3年 かずさDNA研究 所出前授業③～⑥	25	26 1・2年 後期中間テスト 3年 トップスポーツふれ あい交流事業⑤⑥	27	28
29 3年修学旅行 1・2年特別日課	30 3年修学旅行 1・2年特別日課					

## 【12月のおもな行事予定】

1日(水) 1・2年特別日課	3年 10:30 登校	22日(水) 給食終了
2日(木) 新入生体験入学		23日(木) お弁当の日 冬季休業前集会
3日(金) 1・2年テスト一斉返却日		24日(金) 冬季休業 ～1/5
6日(月) 1年校外学習	2・3年学年日課	27日(月) 市内一斉学校閉庁日 ～1/4
10日(金) 3年第四回実力テスト		
13日(月) 1・2年保護者面談	～17日(金)	

☆お知らせ

### ・制服着用について

生徒指導部から全校生徒にお知らせしたように、式典や行事の際には場に応じた服装をするという観点から制服を着用するようになっております。コロナ禍により、体操服での生活が必要な場面もありますが、今後、気温の低い時期になりますし、3年生の進路活動や卒業式に向けての行事も増えてきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

### ・引き続き感染対策のお願い

市内の感染者数は皆様の努力により、かなり減少しておりますが、今後、寒冷期に向けインフルエンザ予防とともにコロナウイルス対策もまだ必要になってきます。引き続き手洗い、うがい、換気、マスク着用等、お子様方に心掛けさせていただきたいと思っております。